

令和3年7月19日～7月25日までの全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況 及び熱中症による救急搬送人員数と暑さ指数(WBGT)の関係について (令和3年度第12報)

1. 全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況について

この期間の6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、「**嚴重警戒**」を示す28以上となる日が続き、19日は「**危険**」を示す31となりました。6都市の10年間平均値と比較すると高く、10年間平均値より2.5程度高くなる日もありました(図1、表1参照)。

11都市(注2)では、全国的に28以上の日があり、仙台、東京、名古屋、福岡は31以上となる日がありました(表1、表2参照)。

全国を見ると、全国的に28以上で、東北地方以南では31以上となる日もありました。

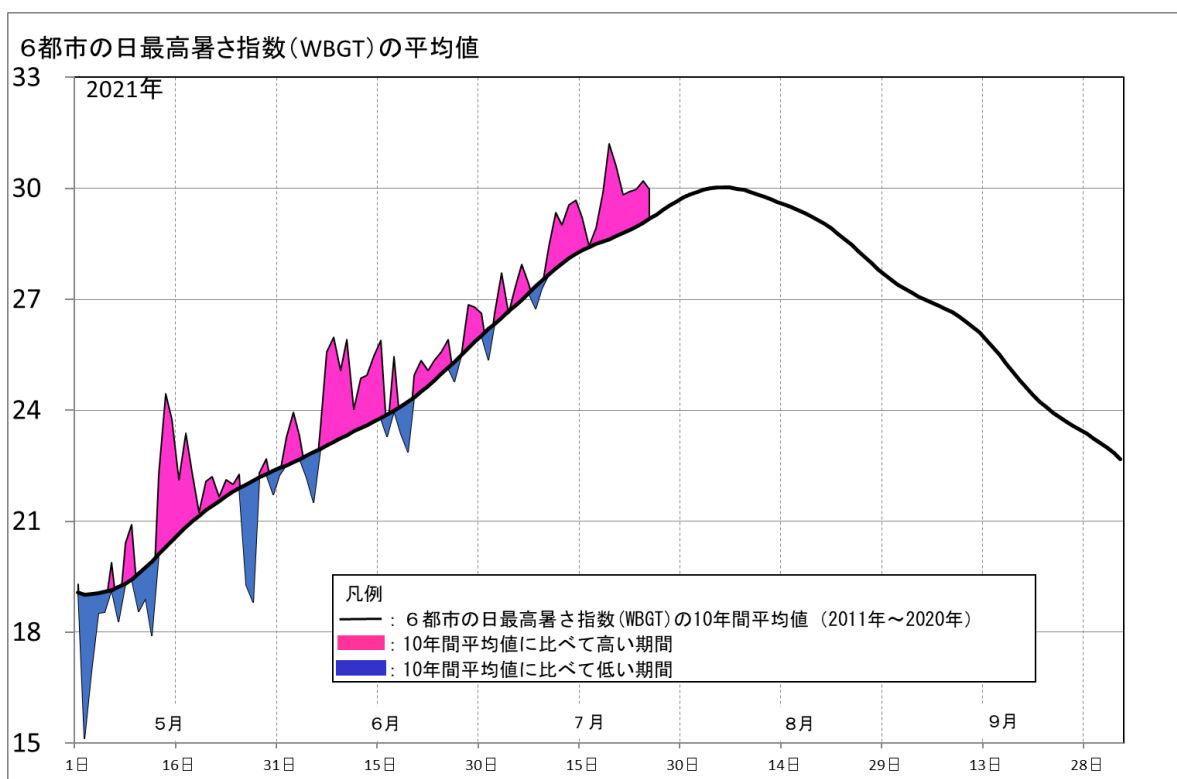


図1 全国の暑さ指数(WBGT)の動向と過去10年間平均値との比較

表1 全国11都市(注2)の日最高暑さ指数(WBGT) (7月19日～7月25日) (注3)

日	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇	6都市平均
19	29.2	31.0	29.9	32.9	32.4	30.2	29.8	30.1	32.1	28.8	30.4	31.2
20	27.7	32.1	30.2	31.8	31.8	30.7	28.9	29.9	30.2	29.6	26.1	30.6
21	28.9	30.0	29.6	30.6	31.7	29.6	28.5	29.5	29.0	29.3	27.0	29.8
22	28.3	25.7	29.6	31.0	31.4	30.3	28.3	29.4	28.8	29.3	27.7	29.9
23	27.5	28.1	29.7	30.8	31.1	30.0	28.5	30.5	29.8	29.2	26.9	30.0
24	28.8	29.0	30.0	29.9	31.1	30.2	29.9	30.1	30.1	29.4	27.3	30.2
25	28.1	28.3	29.6	31.3	30.6	29.9	28.5	30.2	30.0	28.9	30.6	30.0

(注1) 6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市

(注2) 11都市：札幌市、仙台市、新潟市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、高知市、福岡市、鹿児島市、那覇市

(注3) 表1、表2の値は速報値であり、年末に発表される確定値とは異なる場合があります。

表2 全国11都市の7月19日～7月25日の暑さ指数(WBGT)超過時間数(注3)

超過時間数	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇
31以上	0	4	0	10	10	0	0	0	1	0	0
28以上	13	26	63	65	55	43	28	61	40	35	17
25以上	71	66	128	98	112	100	74	88	96	76	163

ほぼ安全	注意	警戒	厳重警戒	危険
21未満	21以上25未満	25以上28未満	28以上31未満	31以上

2. 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)と熱中症による救急搬送人員数(全国)との関係

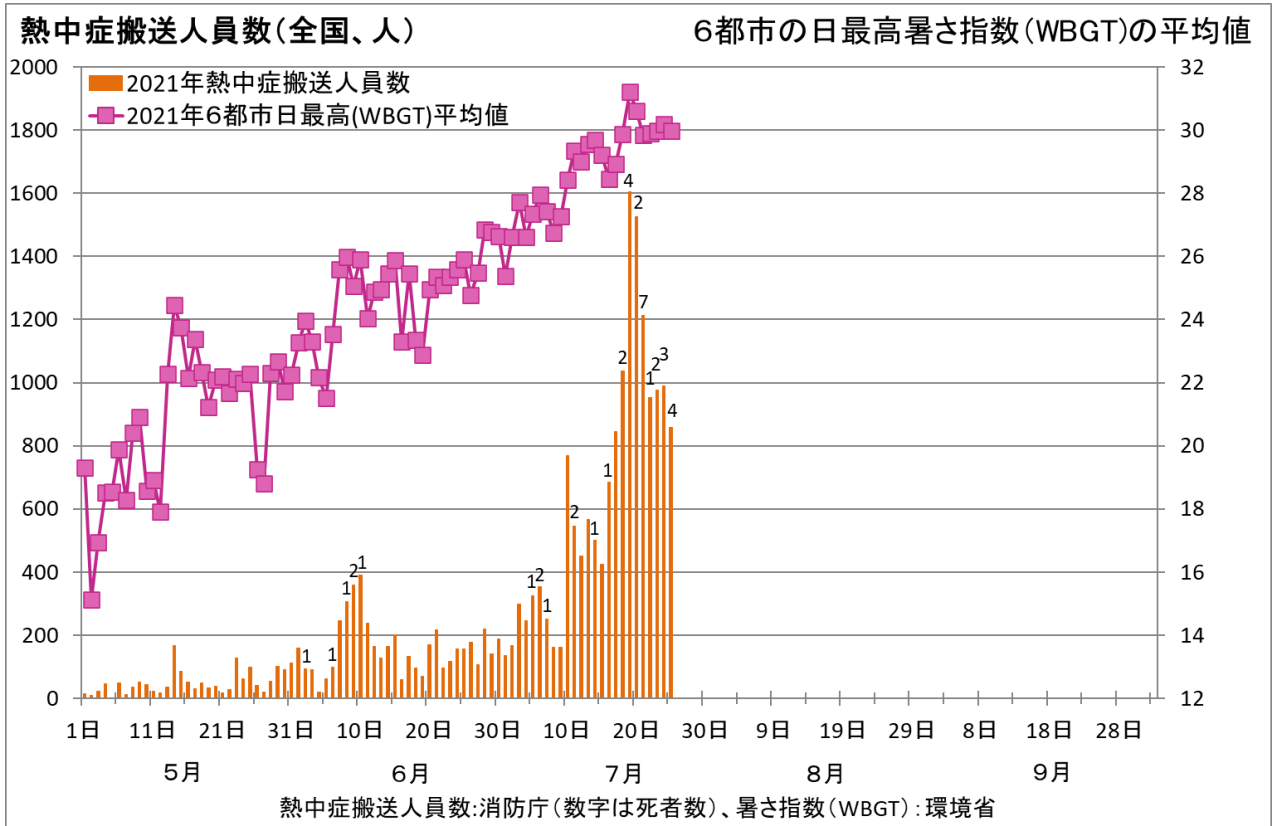


図2 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値と熱中症搬送人員数の推移

7月19日から7月25日までの6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、「厳重警戒」を示す28以上となる日が続き、19日は「危険」を示す31となりました。(表1、図1)。

消防庁発表の速報によると、熱中症による救急搬送人員数は、前週から急激に増加し、7月19日の1,605名が最高で、この期間の総数は8,122人(死者23名を含む)となりました(図2)。

3. 全国の熱中症警戒アラートの発表状況

7月19日から7月25日までの全国の熱中症警戒アラート発表状況は以下のようになっています（表3）。

表3 全国の熱中症警戒アラート発表状況（7月19日から7月25日）

地方 ^{※1}	北海道	東北	関東甲信	東海	北陸	近畿
域内平均 ^{※2}	0	1.7	1.3	1	3.5	1.5
のべ回数	0	10	12	4	14	9
地方 ^{※1}	中国	四国	九州北部 ^{※3}	九州南部・奄美	沖縄	
域内平均 ^{※2}	4.3	0.3	2.7	0	0.8	
のべ回数	17	1	16	0	3	

※1：気象庁の地方予報区単位（別図参照）

※2：「地方内府県予報区の1週間ののべ発表回数」÷「地方内府県予報区数」
回数は前日17時、当日5時どちらかの発表で1回とカウント

※3：九州北部には山口県も含まれる

4. 今後の見通しと注意点

7月30日までは、全国的に「危険」を示す31以上となる地点がある見込みです。

気象庁の週間天気予報（7月28日発表、予報期間：7月29日～8月4日）によると、「最高気温と最低気温はともに、北日本と東日本及び西日本日本海側は平年並か平年より高い日が多く、平年よりかなり高い日もあるでしょう。熱中症など健康管理に注意してください。西日本太平洋側と沖縄・奄美は、平年並か平年より低い所が多い見込みです。」となっております。

○全国的に猛烈な暑さが続いており、熱中症にかかりやすく、例年救急搬送される方が多くなる時期です。引き続き熱中症に十分お気を付け下さい。

別図：気象庁の地方予報区・府県予報区の区分について
(気象庁提供図を補足)

北海道		宗谷				
上川・留萌		網走・北見・紋別				
石狩・空知・後志		十勝	釧路・根室			
胆振・日高						
渡島・檜山						
				青森		
				秋田	岩手	
				山形	宮城	
		北陸		福島		
		石川	富山	新潟		
		福井	岐阜	長野	群馬	栃木
		中国		山梨	埼玉	茨城
		山根	鳥取	兵庫	京都	滋賀
		山口	広島	岡山	大阪	奈良
		九州北部		和歌山		三重
		長崎	佐賀	福岡	東海	
		熊本	大分			愛知
		九州南部				静岡
		鹿児島	宮崎			群馬
		奄美				栃木
						茨城
						埼玉
						東京
						千葉
						神奈川
						近畿
						愛媛
						香川
						高知
						徳島
						四国
						沖縄
						沖縄本島
						八重山
						宮古島
						大東島